

2013年1月17日

東横線・東京メトロ副都心線 相互直通運転開始記念
オリジナルプラレール「東急電鉄 5050系 4000番台」を発売します！

東京急行電鉄株式会社
株式会社東急百貨店

東京急行電鉄株式会社(以下、東急電鉄)と株式会社 東急百貨店(以下、東急百貨店)では、オリジナルプラレール「東急電鉄 5050系 4000番台」を3月14日(木)に発売します。

半世紀にわたり男の子を中心に愛され続けている鉄道玩具「プラレール」(*発売元:株式会社タカトミー)。これまで新幹線を始めとして、日本全国の鉄道車両モデルが製造、販売されてきました。東急線では、2011年10月に初めてのオリジナル車両モデル「東急線5000系 田園都市線」が発売されました。

この度、2013年3月16日に開始する東横線と東京メトロ副都心線の相互直通運転を記念して、相互直通運転以降、東急電鉄の主力車両となる5050系4000番台の車両を発売します。販売場所は東急百貨店各店などで、初回数量は6,000個です。

オリジナルプラレール「東急電鉄 5050系 4000番台」の概要は、別紙の通りです。

以上



プラレール

© TOMY 「プラレール」は株式会社タカトミーの登録商標です。

【別紙】

オリジナルプラレール「東急電鉄 5050系 4000番台」概要

商品名 <タカラトミー> オリジナルプラレール「東急電鉄 5050系 4000番台」
商品形態 先頭車両・中間車両・後尾車両の3両1パッケージ
発売日 2013年3月14日(木)
初回製作個数 6,000個
販売価格 2,501円(税込)
販売場所 <東急百貨店> 各店 玩具売場
本店6階、吉祥寺店6階、たまプラーザ店5階、さっぽろ店8階

期間限定販売

東横店東館7階特設会場

販売期間:3月14日(木)~20日(水・祝)

日吉東急avenue特設会場

販売期間:3月14日(木)~17日(日)

東急電鉄5050系 4000番台とは

5050系は2004年4月に東横線に登場しました。先に開発された田園都市線用5000系と同様、「人と環境に優しい車両」をコンセプトに設計されました。ホームと扉の段差を旧型車両より縮め、吊り手の一部と荷棚を低くするなどバリアフリー化を図ると共に、熱線吸収・紫外線カットガラスの採用や冷房効率の向上など、アメニティも充実しています。また、ドア上に液晶ディスプレイを設置し、停車駅や乗換案内を表示することで、お客さまの利便性向上に努めた車両です。

今回のモデルとなる5050系4000番台は、2013年3月16日からの東急東横線と東京メトロ、西武鉄道、東武鉄道各社との相互直通運転に対応した10両編成であり、8両編成の5050系と区別するために設定されました。新世代の通勤車両として、また、東横線の主力として3月16日以降、主に特急、通勤特急、急行の運用に活躍します。

プラレールとは

タカラトミーのロングセラー鉄道玩具「プラレール」は、1959年にプラレールの原型である「プラスチック汽車・レールセット」が発売されてから半世紀、身近な“鉄道”をテーマに、子どもたちが社会を学び、創造力を育む玩具として愛されています。青いレールを自由につなげて線路をレイアウトし、3両編成の列車を走らせることが基本の遊び方です。発売当時から現在まで、青いレールの規格は統一されており、現在では親子三世代にわたり親しまれています。日本国内ではこれまでに、累計約1000種類、1億4000万個以上を販売しているほか、最近では「プラレール」ブランドとしてアパレル、文具雑貨など500以上のライセンス商品も発売しています。

以上